

# 地域おこし協力隊が行く

Vol.19

December 2018

## 「ふるさとCM大賞NAGANO」決戦は12月2日(日)!

地域おこし協力隊は、目標を決めて、協力して活動をするべきでは?との声も届きますが、東御市では、地域づくり、健康づくり、スポーツ振興、観光地域づくり、地域情報発信、中心市街地活性化、観光プロモーションに担当が分かれ、行政や地域の方の業務や活動の支援を行なうものとされています。内容によって、2~3人が一緒に活動することもあります。基本的には、別活動です。唯一、全員の共同作業は、「ふるさとCM大賞」への応募作品を作ること。今年、エントリーしたのは、約90作品。うち20作品が一次審査を通過しました。東御市も余裕(?)で、12月2日の最終審査会に進出!審査会の様子は、新年にabn長野朝日放送で放送予定。よいご報告ができればいいなあ。



最終審査会では、ステージパフォーマンスも審査の対象になります。ひさびさに女子隊員4人が集まって、アイデアを出し合いました。

## 田中まちなかお化け屋敷、楽しかったなあ

中心市街地活性化支援の菊地夏代さんの心に一番残っているのは、6月末のお化け屋敷。東御清翔高等学校ボランティア部と一緒に初めての試みに挑戦。1,000人を動員し大成功しました。2年前に彼女が発案し、始まったハロウィーンは、年々、協力や共感の輪が広がって、3回目の今年も大勢が参加。商店街が仮装した子ども達で溢れました。



## 大好きな東御の景色をPRしたくて、「ワインウォーク」

11月の「ワインウォーク」は市内外から多くの参加がありました。企画したのは、観光地域づくり支援担当の山本恵子さん。4月に東御に来て以来、風景の美しさに感動しっぱなし。ワインを目当てに来た人にも、景色を楽しんでもらいたい、と点在するワイナリーを歩いて巡るツアーにしました。「ワイ



ナリーさんや地元の方の協力をいただいで実施できました!ありがとうございました

## ワークショップ、楽しいなあ

地域づくり、移住・定住活動支援の神崎遥香さんは、バルーンイベント(10月)、八重原の土で野焼き体験(10月)、鍍金で小皿を作ろう(11月)など、ものづくりワークショップを開きました。たくさん子どもたちとのふれあいは良い経験になったと言います。1月は耐火レンガで窯を作って焼き物をします。



## 観光客の動向調査で立ちっぱなしの日も

「ブドウやリンゴ、柿、お野菜色々、出会う人に頂くことも多くて」。観光地域づくり支援の福田明日実さんは、地域の方との交流を通して、観光資源を発掘。一方で、宿泊施設利用者やイベント参加者のアンケート集計、イベント時の駐車場で来場者の傾向をチェックするなど、地道な業務も行っています。



## 徹子ではなく、鉄子?

地域情報発信支援の山本佳子さんは、インタビューが長すぎて陰で「徹子」と呼ばれているらしいです。でも「ろくもん号」やサイクリートレインを嬉々として取材したから、「鉄子」の方かも?

